

令和3年度 大洲市がんばるひと応援事業【実績報告】

(単位:円)

整理番号	事業名	団体名	年数	事業概要	補助金 交付決定額	補助金 交付実績額	事業の実績	事業の効果	今後の取組方針
1	長浜高校魅力化応援事業	長浜高校を応援する会	新規	<p>長浜高校は、令和2年度に愛媛県教育委員会が定める再編整備基準該当校となったため、令和4年度の入学生数が41人に満たない場合は、他校の分校となる予定である。長浜高校は、昭和15年に長浜家政女学校として開校して以来、創立80周年を迎えて卒業生9,000名を超える歴史がある。この歴史ある長浜高校を分校化してはならないという強い思いのもと、生徒数の確保とまちの活性化を図る。</p> <p>今回は、遠隔地から入学を希望する生徒に対する支援として、入学生が入居できる寮の調整と整備を行う。また、自治会等が主催するイベントやボランティア活動に生徒が参加し、地域住民との交流を深めるとともに、長浜各地域の歴史や文化を学びながら、魅力を発掘し、その魅力を高校のホームページを活用して、全国へ発信する。</p> <p>さらに、地域住民と協力して地域探究プログラムを実施し、生徒が考える長浜地域の課題とその解決方法について報告するとともに、今後の地域との協働による取組について考え、地域の活性化につなげる。</p>	564,000	221,000	<p>伊予銀行の社員寮を長浜高校応援寮として利用できるよう銀行と調整し、その一室に生活家電を整備して県外から2名の入学生を受け入れた。</p> <p>長浜地区清掃活動と脇川流域一斉清掃活動の2回の清掃ボランティアに延べ13名の生徒が参加し、地域住民と交流を深めた。</p> <p>歴史文化学習会では、13名の生徒が榊生公民館と菖蒲園を訪問し、榊生地区の歴史や産業、見どころ等を学習するとともに菖蒲園を散策し、榊生地区の魅力を高校のホームページで発信した。また、9名の生徒が白滝公園で「るり姫の法要」に参加して「るり姫伝説」の講話を聴き、公園の魅力と併せてホームページで発信した。さらに、長浜高校で長浜地区の歴史文化学習会を3日間に分けて実施し、延べ21名の生徒が参加した。</p> <p>地域住民協力のもと地域探究プログラムを実施し、地域の方々を招待して発表会を行った。</p>	<p>コロナ禍にもかかわらず、県外生徒をはじめとして長浜地区内外の多くの生徒がボランティア活動や地域訪問、歴史学習に積極的に参加することにより、地域に対する思いを育むことができた。また、この地域の魅力を再発見し、ホームページにて全国に魅力を発信することができた。なお、ホームページの閲覧回数は毎日200回を越えており、多い時は600回を超える日もある。</p> <p>今回実施した長浜商店街とのコラボやゴミプロジェクト等の地域探究プログラムを通して、長浜地区の住民と長高生との距離が確実に縮まりつつある。</p>	<p>生徒の全国募集の実施により県外等の長浜地域以外からの入学生は今後増加することが予想されている。そのため、地域の歴史文化学習会は長浜地域外からの生徒及び希望者を対象として行うようにしたい。また、地域のボランティア活動や行事に積極的に参加して地域住民との交流を行い、地域理解と地域への思いを深めながら、今後の地域との協働による取組について考え、地域の方々と一緒に地域活性化に貢献したい。</p> <p>今年度に歴史文化学習会を実施できていない地域については、来年度の実施を計画している。各地区についての歴史学習の成果を取りまとめて、文化祭等で地域の方々にも公開して発表し、地域との協働について考える機会としたい。</p>
2	「白滝“SHIN”（新・真）発見」PR動画作成プロジェクト事業	白滝ボランティア会	新規	<p>白滝地区にある白滝公園は、国内でも有数の滝の名所として知られ、また、「日本の紅葉百選」にも選定されており、秋の紅葉シーズンになると日頃穏やかな白滝のまちなみも、多くの観光客が訪れ賑わいをみせる。しかし、昨今の白滝地区においては少子高齢化が進み、地域の担い手不足が深刻化しつつあり、地域全体の勢いも衰えているのが現状である。</p> <p>そのような状況を少しでも打破し、以前よりも更に賑わいのあるまちづくりにすべく、白滝地区の観光のランドマークともいえる白滝公園にスポットを当て、コロナの収束後には多くの観光客に来ていただけるような情報発信が必要と考え、滝や紅葉、伝統、文化など新しい形で白滝地区の魅力をPRする活動に取り組むこととした。</p> <p>初年度はドローンを用いて白滝公園の四季（夏から冬）を中心に動画を撮影し、動画制作の素材収集に注力するとともに、会員においては動画制作、編集方法やSNS等の活用方法の勉強会を実施し、動画投稿サイトに投稿する。</p>	426,000	426,000	<p>白滝地区の魅力を広く周知することを目的として、PR動画の制作に取り組み、特に白滝公園にスポットをあて、その四季ごとに変化する情景を1年間を通して撮影してきた。ドローンを使用した撮影により、誰も見たことのない白滝公園の姿を撮影することができ、興味深い動画を作ることができた。</p> <p>初年度は夏の「新緑編」と秋の「紅葉編」の2本の動画を制作したが、動画の構成や視聴者が見やすさを勘案した結果、2本の動画を1本にまとめたものを作成し、3月に動画投稿サイトのYouTubeで動画を公開した。（3月末時点…視聴回数223回/チャンネル登録者数16人）その後、白滝ボランティア会のFacebookアカウントを作成して、動画公開の周知を行った。</p> <p>撮影に応じて白滝公園の清掃活動を行い、今後の事業展開を見越した動画制作に関する勉強会も開催した。</p>	<p>白滝公園のPR動画『白滝四季折々～新緑編・紅葉編～』を制作し、令和4年3月からYouTubeにて公開したところ、1か月で再生回数223回（チャンネル登録者数16人）の実績を得ることができた。</p> <p>視聴者からの反響も良く、地元住民のもとより県内外、果ては海外の方からも好評をいただいでおり、次回作を早く見たいとの意見も拝聴している。</p>	<p>白滝公園を含む白滝の四季の模様は動画の素材として継続して撮影し、白滝地区でのイベントや新たな動画の企画を立案しながら、白滝の魅力あるPR動画を制作し、多くの方に視聴していただくよう周知活動を拡大していく。</p> <p>また、白滝周辺の柴地区、戒川地区にもスポットを当てた動画を制作するとともに、白滝ボランティア会のメンバーが動画制作のノウハウを習得し、地域振興につながる動画が作れるよう勉強会を引き続き開催する。</p> <p>白滝地区の魅力を表現したCMを制作し、「ふるさとCM大賞えひめ」への応募やYouTube上での動画公開を呼び水に、観光客誘致につながる活動を展開していく。</p>
	合計				990,000	647,000			